

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	ペン習字	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア (人間系)
								必修・選択	選択(E群)
使用教材	教科書	(学校設定科目につきなし)							
	副教材	硬筆書写技能検定3級合格のポイント							

学習目標

今日の生活においてももっとも使用する筆記用具の一つであるボールペンや他の用具で、自身の文字書きの上達を図る。さまざまな書体に親しみ、文字の美しさを感じ表現する機会とする。実用書から作品となる書まで幅広くふれることで、身の回りの書に興味を持てるようにする。硬筆検定取得を目指す。

学習方法

- ・ボールペン、鉛筆、マジック、筆ペンなどの特性をとらえ、書式や作品形式にあった使い方や表現方法を学び反復練習する。
- ・平仮名、カタカナ、漢字の基本書体である楷書、行書の特徴や字形のバランスの取り方を学びながら検定取得を目指す。
- ・文字を美しく見せるための技法を身につけ、全体構成を考えながら作品を完成させる。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の違いや、字形の取り方に関心を持ち、その表現を身につけようとしているか。 ・毎時間の練習において意欲的に取り組んでいるか。 ・よりよい作品になるよう向上心を持ち、字形・線・構成を追求しているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・制作意図を明確にし、工夫した自己表現ができているか。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書体や字形の特徴をとらえ、形式に応じた書き方ができているか。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・各書体の特徴や多様な表現形式を理解する。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み	◎	◎	○	◎	
課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

硬筆検定3級では、楷書と行書の特徴を理解し、書き分けができることが求められるため、各書体の字形のバランスがとれるよう反復練習することが必要となる。また各設問のポイントを理解し、その形式にそって体裁よく書けるよう練習する。・作品制作では、基本的な形式や表現方法を身につけ、そこから独自の表現となるよう工夫していくことが大切になる。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	硬筆検定に向けての学習。 実用書の学習①（ボールペン） 履歴書、礼状、葉書。	文字を丁寧に読みやすく美しく書くことを学ぶ。 楷書、行書の特徴を理解しその書き分けの習得。 硬筆検定の各設問のポイントを理解し練習問題と添削の反復により字形、書式に合わせた書き方の習得。 実用的に使われる書式の習得。	学習活動： 〈硬筆筆検定に向けての学習〉 ・一定時間内で文字を読みやすく美しく書く練習。 ・楷書と行書のかき分けの練習。 ・漢字仮名交じり文の縦書き、横書きの練習。 ・葉書の表書きの練習。 ・マジックを使い掲示物を書く練習。 （履歴書の学習①）履歴書、礼状、葉書の書式を学び練習する。
2 学期 30単位時間	実用書の学習②（筆ペン） のし紙・のし袋。 連綿と変体仮名の学習（筆ペン）。 カリグラフィーの学習（カラー筆ペン）。 漢字仮名交じりの書の学習（筆ペン）。	行書で自分の名前が書けるようにする連綿と変体仮名についてその表現効果を理解し表現する。 カリグラフィーの基本技法を理解しバランスよく書けることを目指す。	〈履歴書の学習②〉 ・のし紙、のし袋で使われる文字を筆ペンを用い練習。 ・自分の名前を楷書・行書で書く。 〈連綿と変体仮名の学習〉 ・連綿と変体仮名の字形や流れを練習しそれを用いた作品を仕上げ展示する。 ・筆ペンで書くカリグラフィーの基本技法を練習し、各自の工夫を取り入れた作品を仕上げ展示する。 〈漢字仮名交じりの書〉自これまで習得したこと内容を活かし作品を仕上げ展示する。
3 学期 18単位時間	カリグラフィーの学習まとめ（カラー筆ペン）。 感謝状（筆ペン）。	筆ペンカリグラフィーで季節に合わせたカード作りをする。 賞状の基本的な書式を理解し、これまで学んだ字形やバランスの取り方などに気をつけ感謝帖を仕上げる。	・筆ペンカリグラフィーのまとめとなる作品を仕上げ展示する。 ・これまで学んだ字形やバランスの取り方などに気をつけ感謝の想いを伝えたい人に感謝状を書く。 【評価方法】（年間）： ・毎時間の課題において基本的な内容を理解し、その習得のための練習に打ち込んでいるか。 ・作品制作においては基本的技法を基に自己表現しようとしているか。 ・四つの観点に基づき総合的に評価する。